



令和8年度 身延中 学校だより
 発行者：校長 小田切 武

NO.2 2026年5月1日

「チーム身延中」の構築をめざして ～「身延中スタンダード」の徹底～

身延中学校では、毎年、年度始めに全校集会を行い、学校長より「チーム身延中」「身延中スタンダードの徹底」を以下のような説明をして、方針の共有を図っています。保護者の皆様には、これからも様々な場面で学校と連携していただき、「チーム身延中」の中核として共に進んでいただけるようお願いいたします。

身延中学校は、学校教育の充実に向けた合い言葉として、「チーム身延中」「身延中スタンダードの徹底」を掲げています。「チーム」には、関係するすべての方が含まれ、学校では、保護者や地域の皆様はもちろん、生徒・教職員の他、学校生活を支えてくださる全ての皆様がチーム身延中の一員であり、応援団だと考えています。

この【身延中スタンダード】は、新生・身延中が10年前にでき、統合した学校を充実させるために、生徒の皆さん・先生方・保護者や地域の方の心が一つになるように、そして一つの「チーム身延中」として学校を発展させていけるように、などの願いが込められて決められたものです。改めてこの【身延中スタンダード】を柱にした生活が展開できるよう、意識して諸活動に取り組んでいくことが大切だと感じています。

【身延中スタンダード】は、「学校生活スタンダード」「授業スタンダード」「家庭生活スタンダード」にまとめられています。その根本になっているのは、学校教育目標にある「目指す生徒像」(①自ら学ぶ生徒 ②思いやりのある生徒 ③たくましい生徒 ④進んで働く生徒)です。一つ一つの項目の意味や願いを考え、毎日の生活や授業をはじめ様々な活動や行事の中で、生徒同士や先生方とともに、「チーム身延中」として充実した取組につなげていけたらと思っています。

「チーム身延中」の一員として 「身延中スタンダード」を自分のものにしよう!

身延中の求める「めざす生徒像」(「学校教育目標」より)
 (1) 自ら学ぶ生徒 (2) 思いやりのある生徒 (3) たくましい生徒 (4) 進んで働く生徒

学校生活スタンダード

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 自分の行動に責任をもつ。 | 6 あいさつをする。 |
| 2 目標をもち、最後まであきらめない。 | 7 正しい身なりをする。 |
| 3 他人の立場を思いやる。 | 8 身のまわりの整理・整頓をする。 |
| 4 話をきちんと聴く。 | 9 精一杯働く。 |
| 5 時間を守る。 | 10 ものを大切にする。 |

授業スタンダード

- 【事前の準備】
- 1 宿題や復習は、家でやっておく。
 - 2 授業が終わったら、次の授業に必要なものを机の上に置き、休み時間にす。
- 【活動の姿勢(主体性)】
- 3 わからないところはわかる人に遠慮しないで訊く。
 - 4 わかるまであきらめない。
 - 5 わかったふりをしない。
- 【関わり合い(協働性)】
- 6 人の意見を尊重する。
 - 7 訊かれたら、やさしく丁寧に教える。
 - 8 困っている人を助ける。
- 【聴き方】
- 9 発表者の方を向いて、発表内容を聴く。
- 【発表の仕方】
- 10 指名されたら返事をし、みんなに関係するように発表する。

家庭生活スタンダード

- 1 家に帰ったら、学校からの通知を家の人に必ず渡す。
- 2 自分で決めた時間で家庭学習をする。
- 3 家族の一員として仕事を一つはやる。
- 4 学校であったことを家の人に伝える。
- 5 スマホ・携帯は、必要な場合以外は22時以降使わない。(電源を切るか、家の人に預ける。)
- 6 地域の行事に積極的に参加する。

3年 修学旅行

3年生は、4月14日(火)～17日(金)の3泊4日、広島・大阪・奈良・京都に修学旅行に行ってきました。スローガンは「笑顔満開！青春全開！～旅が繋ぐ、友との絆～」。新年度が始まって1週間後の実施であったため、昨年度までにある程度用意していても、新しいクラスでの決め事もあり、先生も生徒も保護者の方々も準備が大変だったことと思います。インターネットや書籍では得られないことを、実際に見て、聴いて、感じて、たくさんの学びのある旅行となりました。

1日目は広島平和公園で、被爆体験講話を佐渡(88歳)さんから伺いました。当時小学2年生でありながら、原爆(ピカドン)が落とされたときの様子を、鮮明に記憶していて、凄まじい状況が脳裏に浮かび、改めて戦争の悲惨さ怖さを実感することができたのではないかと思います。一緒にいた妹も含め両親も被爆して亡くなってしまい、親戚に預けられて育ったこと、被爆したため本人も癌を患ったこと、それでも結婚して3人の子供に恵まれ育てたことなどを伺うなかで、死ぬよりも辛い状況ではなかったかと推察しましたが、とにかくがむしゃらに生き抜いてきたことが伝わってきました。その後、資料館内を見学し、「原爆の子の像」前にて献鶴式を行いました。ボランティアガイドさんがグループごとに帯同して公園内を案内していただきました。それから大阪なんば駅まで移動し、夕食を串カツ屋でいただきました。旅館では、1年生の頃の学年主任からの意向を受けて、生徒にはサプライズとして、キングオブコントで2年連続ファイナリストとなった吉本興業の芸人「隣人」を招いて、漫才を堪能しました。

2日目は奈良に移動し、薬師寺、法隆寺を見学し、雨が降ってきたので、春日大社、興福寺国宝館経由で東



大寺を班別で見学しました。薬師寺の五重塔は当時のものと昭和に建てられたものが時空を超えて一緒に見ることができるため、感慨深く貴重な出会いを感じることができました。

3日目は京都の自主見学です。神社やお寺の建物、庭・仏像をはじめ、古都の歴史を目の当たりにしたことは、何ものにも代え難い経験だったと思います。旅館に到着後は、漆器の加飾体験を行いました。薄く色を塗り重ねることに苦慮していましたが、素晴らしい出来栄えだったと思います。

4日目は、ガイド同伴で清水寺の見学と参道でのお土産購入タイムでした。音羽の滝では、ガイドさん曰く、水は飲まない(諸説あるようですが)との説明を受けました。ご利益にあやかろうとほとんどの生徒が「学問」の列に並び聖なる水で口を濯いでいました。4日間の仲間との生活を通して得たことも大きかったと思います。集団として、組織として行動するために考えたり行ったりした心遣いは、いろいろな場面で発揮され、それに助けられたり、心が温かくなった人も多かったのではないかと思います。旅行前に骨折した仲間を気遣って荷物を持ってあげたり、車椅子を押してあげたりする場面もたくさんありとても嬉しく誇らしく思いました。また、旅行中の「公の場」での立ち居振る舞いについての課題も、自ら律して改善していこうという姿勢がありました。公私の区別をつけ、状況を判断し、社会に生きる一人としてどのように振る舞えばよいかを考える好機となったと思います。3年生はこれからの身延中学校の中心的な存在です。身につけた団結力で、学校をリードして欲しいと思います。



2年 県内めぐり

2学年は、4月16日(木)~17日(金)に県内めぐりを実施しました。「共歩」をスローガンに掲げ、中学校に入って初の宿泊を伴ったイベントが行われました。

1日目は班ごと自主見学で県立美術館、県立科学館、昇仙峡、善光寺など、甲府市周辺の史跡、文化財、産業等に関わる施設等を訪れました。修学旅行での班別自主見学を想定し、安全確認のためにGPS機能付きのスマートフォンを持たせての取組を行いました。連絡を取る中で予定時間や乗り場の間違いなどがあったようですが、しっかりと学んでくることができましたようです。宿舎の八ヶ岳青少年自然の家へ向かい、夕食後は、ナイトハイクを行いました。2日目は、川俣川渓谷散策、清泉寮見学、飯盒炊さんとカレー作りを行いました。時間に対する意識に多少課題があったようですが、充実して学びの大きい取組だったようです。これらの経験を、これからの学校生活や来年度の修学旅行に生かして欲しいと思います。



1年 町内めぐり

1年生は、4月17日(金)に「木喰の里微笑館」や甲斐黄金村・湯之奥金山博物館を中心に町内めぐりに出かけました。スローガンは「Discovery~34の笑顔を咲かせよう!~」。身延中学校に入学して約2週間。新しい仲間と交流し、相互理解を深め、学年・学級の仲間づくりに向けて、学年委員の皆さんを中心に準備を進め、当日は皆、楽しく安全に活動することができたようです。しかし、周囲のことを考えながら行動することなどの課題もみられました。これからの中学校生活の中でよかったところを更に伸ばし、課題点についてはみんなで改善できるようにして欲しいと思います。



3年 全国学力・学習状況調査

4月22日(水)に質問調査と英語を、タブレット端末を使って回答し、4月23日(木)には、国語と数学の全国学力・学習状況調査が多目的室で行われました。4月28日(火)には英語の話すことについての調査がありました。CBT(Computer Based Testing)システムの活用によって、生徒も学校もすぐに結果を知ることができ、学力の向上に役立てやすくなり、生徒は自分の強みや弱点を素早く把握し、その改善に取り組みやすくなります。文科省は来年度から全面CBT化を行う予定となっていて、紙での調査は今年度で最後となりました。今回の結果については、3年生ばかりでなく職員全員で分析し結果を共有する中で、課題点については改善を図っていきたいと思います。

